

株式会社オーテックメカニカル

確かな技術力で休暇制度を充実

取組の ポイント

- ・ 創業者の強い思いから、お客様や地域を大事にする社風が根付き、消防団員の活動等、公共のために必要となる休暇制度を導入
- ・ 多能工化を進めることにより、単発的な休暇取得であればフォローできる体制を構築



取組の目的・概要

- ・ 創業者の地域への貢献に対する強い思いから、消防団員の活動等、公共のために必要と認められた作業に従事するときに、社長判断による有給の特別休暇が付与される。
- ・ その他、天災・地変・その他非常災害のあった場合、その必要を認めた期間、社長判断による特別休暇が付与される。
- ・ 特に過疎地域に住む従業員は、消防団員への参加要請が多く、河川の氾濫等による出勤要請があった場合は、仕事よりも優先して特別休暇を取得できるように支援している。
- ・ 普段から従業員の技術力向上、多能工化に取り組んでおり、単発的な休暇であれば、周りの従業員がフォローできる体制を整えている。

企業概要

[設立] 1985 年
 [事業内容] 製造業
 [所在地] 山梨県南アルプス市
 [従業員数] 43 名 (連結、2017 年 12 月現在)

[年次有給休暇の取得率] 44%
 [年間休日数] 126 日
 [URL] <http://www.aotec.co.jp/>

取組内容と特徴

消防団への参加を特別休暇制度で支援

- ・ 創業者の地域貢献への強い意識より、消防団等の公共のための作業に対し、有給の特別休暇制度を導入している。社長を含めて43名の従業員の中、4名が消防団に参加しており、2017年度も1回特別休暇を取得した。
- ・ 特に過疎地域では消防団員の人手不足が問題となっており、そのような地域に住む従業員が積極的に消防団員に参加している。地域の特性上、火事以外に川の見回りも多く、大雨で人が流された時などは消防団が召集される。地域の非常事態に消防団として参加することは、特に人手不足の地域において大切な地域貢献活動である。
- ・ 消防団は地域に密着した活動であり、人や地域とのつながりが深くなる等、様々なメリットがある。
- ・ 消防団に参加しない人も、月初めにみんなで清掃活動に取り組む等、地域貢献に対する理解の醸成に努めている。

多能工を進め、休暇を取得してもフォローできる体制を構築

- ・ 受注はお客様のニーズに合わせたオーダーメイドによるものであるため、社内で多能工を進めることにより、消防団への参加等の単発的な休暇であれば、周りの従業員がフォローできる体制を構築している。
- ・ 俗人化する作業もあるため、全てを周りの従業員でフォローすることはできないが、各従業員が日々の業務の中で技術力の向上に取り組み、様々な技術を身につけることにより、周りの従業員がフォローできる体制を整えている。

- ・ フォローできる体制の具体的な取組としては、長期的な従業員の育成、勉強会・意見交換会の開催、多能工化マップ・手順書の作成がある。
- ・ 従業員の育成は、大卒の新入社員に対し、約2年間の時間を費やしてものづくりについて学ばせる。その期間中に、図面を見ながら製品を組み立てていくことを学ばせる。その後、設計について習得する。
- ・ 設計者は設計以外に、納期の管理からコストの管理まで担当する。オーダーメイドのため、開発、設計、製造、販売と一貫して実施することになり、様々な業務を覚える必要がある。これが、多能工化にもつながっている。
- ・ このほか、週に一度、通常の生産活動を止めて1時間ほどの勉強会をしている。勉強会の中で従業員の様々な技術・スキルを上げていき、これが生産性の向上につながっている。
- ・ 勉強会の30分前から、意見交換会も実施しており、失敗談や成功体験を共有することで、スキルアップにつなげている。
- ・ 多能工化の仕組みとして、誰が何をできるかを示したマップを作成しており、従業員ごとに課題等を把握することで、スキルアップにつなげている。
- ・ 技術以外の事務部門等で多能工化が難しい部署では、手順書を作成し、作業の属人化を回避している。

制度利用者の声

営業課 千須和 太一さん（身延町 消防団員 入団12年）

出勤時間に取り決めはなく、発生時緊急招集がかかる為、就業時間中に出勤命令がかかることがあります。山梨県では過疎化が進み、若い団員も減少傾向にあり、消防団員確保が大きな問題となっています。

以上のことから、消防団活動による地域貢献は出来るだけ優先したいと思っています。弊社には、このような特別休暇制度があり会社の理解があるので、活動もしやすい状況で大変ありがたく思っています。

